

団体名	ひょうごエコ市民ネットワーク		
団体の所在地	美方郡香美町	代表者名	大西英剛

1. 事業名	但馬地域における自然環境学習及び環境保全活動
2. 実施期間	平成23年5月～平成24年3月
3. 主な実施場所	学習会・フォーラム: 豊岡市、養父市 獣害調査: 北但全域 貴重植物保全調査: 香美町
4. 活動形態	普及啓発活動 実践活動 調査活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	学習会: 「但馬山岳山地に氷河期末期から今日まで残り続ける亜寒帯性植物」 参加25名一般 「但馬山地に生息する希少動物の生息環境」参加25名一般 講師: 兵庫県生物学会副会長 「山陰ジオパークと養父市周辺の地形地層」参加45名一般 講師: 山陰ジオパーク協議会専門員 フォーラム: 「山の動物と森のあり方を考える」参加30名一般 県民局、森林動物研究センター、農家、猟友会等の関係者による報告と意見交換 獣害実態調査: 獣害ツアー(北但)参加者10名 北但地域の獣害地域の田畑、里山、植林、森林の実態把握のための調査 貴重植物天然記念物「カキツバタ」の保全保護活動 参加者5名 カキツバタ湿地の保全作業計画における基礎調査枠のデータ作成
6. 成果・反響・ 反省点等	①学習会では但馬の希少動植物を学び自然保護の大切さを学ぶとともに、今後の保全にどう関わるのか問われている。 地元の山陰ジオパークの特徴を学ぶとともに、但馬地域の成り立ちを通じて今後の関わり方や保全保護活動の必要性の認識を深めた。 地元のことをもっと知る必要性を感じた。学習会の機会をもっと企画すべきである。 ②フォーラムでは獣害の実態が明らかになり、関係機関が協力して取り組む共通認識ができた。 被害は農林被害だけでなく、生物多様性や災害への影響についての調査、取組が課題となってきた。 ③獣害実態調査: 獣害ツアーでは、里山から標高の高いところまで食害は深刻であり、下層植物の食害、木の樹皮の食害が深刻な実態が明らかになった。 実態を多くの皆さんが実際に見てみる必要がある。多くの参加者を募る必要がある。 ④貴重植物天然記念物「カキツバタ」の保全活動では基礎調査が必要であり、今年度は基礎調査に終わったが、多様多種の植物が繁もうしている実態が明らかになった。今後は雑草の侵入を食い止める策が求められる。水が減ってきていることに対する対策も同時に必要となっている。
7. 成果物	なし

8. 活動写真・説明	  
	<p>獣害聞き取り調査</p> <p>フォーラム「山の動物と森のあり方を考える」</p> <p>カキツバタ自生地調査</p>